



バスラ日誌（4月27日）

1 基本基礎は、やはり重要

カウンターIED会議等に出ると基本基礎はやはり大事なのだと思う。IED攻撃を不幸にも受けてしまったという事例は、基本基礎の欠如によるところが大きいようである。各種資料の整理・記録、弱点地域の把握、移動経路の選定、IED発見訓練、[REDACTED]の保護圏を考慮した車両梯隊編成・間隔、梯隊編成を考慮した護衛用車両の配置位置、ルートチェック、[REDACTED]・アーマーの装着、教訓事項の等等・・・これら基本基礎を怠った部隊が、攻撃を受けてしまったという事例が多いように思える。カウンターIED会議でもこれら基本基礎の徹底が重要だと言っている。また、このように広範多岐にわたる基本基礎は、隊員個人だけでなく指揮幕僚活動もその対象になっているようだ。日本でも基本基礎が常に重要だと言われていたような気がするが、部隊の命運を左右するという事の重要性を考えると基本基礎は、言葉とは裏腹に深いものだと思う。

[REDACTED]

2 4月26日、小瀬隊長が、小野寺群長の代理でMND（SE）の指揮官会議に参加された。4月24日に来て頂くよう調整していたが、終日砂嵐が吹き荒れたため、25日に変更を余儀なくされ、ヘリの調整等の齟齬もあり、計画した表敬などをキャンセルするなどあわただしい訪問となってしまった。それでも、師団長の表敬、幕僚長との会談はしっかりと実施でき、指揮官会議そのものにも参加できたので、隊長に来て頂いて本当に良かったと思っている。小瀬隊長、またの訪問をバスラLO一同、お待ちしております。

[REDACTED]

3 我々が班長、[REDACTED] 異常なくバスラ到着。明日から、また4人で頑張りましょうね、班長。

（バスラ留守番 [REDACTED]）

4 本日快晴。バスラ4名、極めて健康。

[REDACTED]